

編集後記

<編集顧問>

鈴木 秋悦
武田 佳彦
青野 敏博

<編集委員>

岡井 崇
神崎 秀陽
倉智 博久

<第一歩>

産科医療補償制度の原因分析報告書が医療者に厳しすぎて訴訟が増えている、などという流言を飛ばす者が居る。勿論、事実はそうでないのだが、根拠のない全くの虚言でも知らない人は騙されてしまうかも知れず、正しておかなければならない。

2009年に運用が開始されてから、昨年(2011年)末までに補償の対象となった重症脳性麻痺事例(先天異常や未熟児は対象外)は252例であった。その内、同時点までに損害賠償請求が行われた事例は証拠保全のみの8例を含めて18例(7.1%)であると発表されている。制度が開始される前の正確な数字は分からないが、分娩と関連して児が重症の脳性麻痺となった家族の半分くらいは何らかの賠償請求行動を起こしていたと推察されていて、上記の7.1%という数値は著しく低い。これは、新しい制度が出来たことから、家族が、まずは原因分析の結果を待って、と考えているためと考察されている。そこで重要なのが報告書が届いた後の家族の動向である。

調べてみると、昨年末までに報告書を受け取っている87例の内、6例は報告書が届く前に既に賠償請求を行っており、報告書の送付後に行動を起こした事例は何と2例(2.3%)のみで、請求行動は報告書送付後2ヶ月以内になされていた。2012年6月現在のデータで、報告書を受け取ってから6ヶ月~1年経つ事例が44例、1年~1年半が23例、1年半以上が20例あるが、それらの中に現在の所、上記2例以外に賠償請求が行われた事例は存在しない。損害賠償請求は年月が経つことによって少しずつ増加するであろうが、2.3%と言う数値が数年の内に20倍・30倍になるとは予測し難く、賠償請求が本制度開始以前の状態より多くなるとは到底考えられない。

この制度は、日本が医療事故後の対応を、患者側と争うのではなく、professional autonomyの精神に則って医療側が自ら事例をレビューするという新しい考え方に転換し、そして踏み出した大きな第一歩である。虚言に惑わされて後退させることなどあってはならない。

(岡井 崇)

臨床婦人科産科 (第66巻 第9号)

2012年8月10日発行(毎月1回10日発行)

定価2,835円(本体2,700円+税5%)

2012年年間購読料:増刊号含む、税込、送料小社負担
冊子版 40,880円 冊子+電子版/個人 45,880円
電子版/個人 40,880円 冊子+電子版/共有 52,100円
電子版/共有 47,100円

医学書院ホームページ(インターネット)は、
Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/> です。
臨床婦人科産科ホームページアドレス
<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinpusan>

発 行 株式会社 医学書院
代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
電話 編集室直通 (03)3817-5709(担当:高島・安部)
販売部直通 (03)3817-5659・5660
ファクシミリ (03)3815-7802
E-mail: rinpusan@igaku-shoin.co.jp
振替口座 00170-9-96693番
印刷所 (株)双文社印刷 電話 (03)3973-6271
広告申込所 福田商店広告部 電話 (06)6231-2773

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2012, Printed in Japan
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 本書を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ 〈社)出版者著作権管理機構 委託出版物〉
本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。